



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ハーバー研究所 上場取引所 東

コード番号 4925 U R L <https://haba-lab.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）西 幹男

問合せ先責任者 （役職名）取締役財務・経理部担当 （氏名）高崎 明彦 T E L 03-5296-6250

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,550	1.7	257	—	252	—	187	—
2025年3月期中間期	5,455	△1.3	△36	—	△22	—	△15	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 187百万円 (−%) 2025年3月期中間期 △16百万円 (−%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	49.71	—
2025年3月期中間期	△4.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期中間期	百万円 12,028	百万円 8,963	% 74.5
2025年3月期	12,344	8,927	72.3

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 8,963百万円 2025年3月期 8,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 40.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
	12,550	4.0	500	△15.2	490	△19.5	480	△16.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	3,935,000株	2025年3月期	3,935,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	153,520株	2025年3月期	153,520株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	3,781,480株	2025年3月期中間期	3,781,519株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(中間連結損益計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(重要な後発事象の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、地政学的リスクの高まりや米国の通商政策の影響による景気下振れリスクに加え、エネルギー及び原材料価格の高騰が続いております。また、長引く物価上昇に伴う実質賃金の伸び悩みが個人消費に影響を及ぼし、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済環境の下、当中間連結会計期間の当社グループ連結売上高は、5,550,795千円（前年同期比1.7%増）となりました。

当社グループの販売ルート別売上では、主力事業である通信販売事業（ECを含む）において、プレミアム層（ポイントステージ：ダイヤモンド会員・プラチナ会員）の売上は前年同期比で増加したものの、新規顧客獲得数の減少に伴うベーシック層（同ステージ：フレンド会員・スタンダード会員）の売上減少が響き、3,077,061千円（前年同期比2.0%減）となりました。店舗販売事業（百貨店向卸売・直営店）では、前期から進めていた不採算店舗の整理・閉鎖により、直営店の売上が233,601千円（前年同期比17.2%減）となりましたが、百貨店向卸売においては、ツーリスト需要の回復により売上が全体では777,288千円（前年同期比9.1%増）となりました。その他卸売事業（国内卸売事業・海外卸売事業）では、国内では主要取引先の店舗閉鎖や大口受注の減少により売上が減少した一方、海外では2025年4月より中国代理店を1社に集約したことにより販売効率が向上し、中国向け出荷量が大幅に増加した結果、1,462,422千円（前年同期比10.6%増）となりました。

また、品目別売上では、化粧品全体として前年同期比1.3%の増収となりましたが、基礎化粧品は3,442,908千円（前年同期比1.0%減）、メイクアップ化粧品は469,085千円（前年同期比8.7%減）、トイレタリーは296,987千円（前年同期比4.7%減）となりました。一方、健康食品・雑貨等の売上においては1,177,627千円（前年同期比3.2%増）となりました。

売上原価は、1,846,038千円（前年同期比2.9%増）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝・販売促進費が1,127,079千円（前年同期比9.3%減）、その他経費が2,320,083千円（前年同期比5.6%減）、合計で3,447,163千円（前年同期比6.8%減）となりました。

これらの結果、営業利益は257,593千円（前年同期は営業損失36,739千円）、経常利益は252,097千円（前年同期は経常損失22,582千円）、親会社株主に帰属する中間純利益は187,976千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失15,613千円）となっております。

こうした環境下において、当社グループでは「第2次中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）」に基づき、2026年3月期の重点課題に取り組んでおります。

[第2次中期経営計画に基づく施策]

(基盤強化)

- ①人的資本の強化
- ②収益構造の改善
- (事業拡大)
- ③製品開発の強化
- ④顧客接点の拡大

[2026年3月期 重点課題]

①店舗販売事業改善策の継続推進

- ・不採算店舗の閉店による収益性の向上…上期4店舗をクローズ
- ・好立地店舗の強化・刷新…下期に3店舗を移転・リニューアル予定
- ・インバウンド需要への対応…海外人気商材の限定販売や百貨店との協業による外商施策の強化

②新規顧客の基本施策見直し

- ・新規獲得商材の充実…市場ニーズの高いヘアオイル、スキンケアパウダーなどの新規商材を投入
- ・F2転換（2回目購入・継続）フローの構築…顧客接点のあり方を見直し、上期の転換率が上昇

③クラブハーバー制度の改定

- ・ミドル層（ポイントステージ：ゴールド会員・サファイア会員）～ベーシック層（同ステージ：フレンド会員・スタンダード会員）の稼働向上…クラブハーバー制度（ポイントステージ）改定によるLTV（顧客生涯価値）の向上
- ・プレミアム層の継続フォロー

なお、機能性表示食品『ビフィズスミックスW』を2025年4月21日に、美容ケアサプリメント、粉末タイプの『みちぶるスティック（コラーゲン＆大豆イソフラボン）』、ドリンクタイプの『みちぶるリッチ（コラーゲン＆プラセンタ）』を同年9月19日に新発売いたしました。

さらに、新たな取組みとして、当社ブランドの持続的な成長を見据え、ミレニアル世代（30～40代）への認知度向上施策を推進しております。具体的には、T V離れ世代（Z世代～ミレニアル世代）に話題のクリエイター集団「こねこフィルム」（2025年9月25日時点の総フォロワー数430万人）とコラボレーションし、縦型ショートドラマ（全4話予定）を制作。第1弾『萬田久子』を2025年9月18日より、第2弾『大女優VS本物』を同年10月16日より、各種S NSで配信し、T V離れ世代への認知度向上と新規顧客獲得の基盤強化を図りました。

販売ルート別売上

(単位：千円)

区分	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
販 売 ルート	通信販売 (EC含む)	3,139,541	% 57.5	3,077,061	% 55.4	△62,480 △2.0
	百貨店向卸売	712,217	13.1	777,288	14.0	65,070 9.1
	その他卸売	1,321,954	24.2	1,462,422	26.4	140,468 10.6
	直営店	282,144	5.2	233,601	4.2	△48,543 △17.2
	合計	5,455,858	100.0	5,550,373	100.0	94,515 1.7

(注) 上記の合計表は、「品目別売上」の「その他(注)2」を除いた「化粧品・健康食品等 小計」売上に対して記載しています。

品目別売上

(単位：千円)

区分	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
化粧品	基礎化粧品	3,476,381	% 63.7	3,442,908	% 62.0	△33,472 △1.0
	メイクアップ化粧品	513,536	9.4	469,085	8.5	△44,450 △8.7
	トイレタリー	311,604	5.7	296,987	5.4	△14,616 △4.7
	その他(注)1	13,338	0.2	163,762	2.9	150,424 1,127.7
	小計	4,314,860	79.1	4,372,745	78.8	57,885 1.3
健康食品・雑貨等		1,140,997	20.9	1,177,627	21.2	36,630 3.2
化粧品・健康食品等 小計		5,455,858	100.0	5,550,373	100.0	94,515 1.7
その他(注)2		109	0.0	421	0.0	312 286.8
合計		5,455,967	100.0	5,550,795	100.0	94,827 1.7

(注) 1. 期間を限定して提供するキャンペーンセット品等が主なものです。

2. カルチャーセンター等の売上が主なものです。

(2) 当中間期の財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比較して241,243千円減少し、8,794,252千円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が増加したものの現金及び預金、売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比較して74,853千円減少し、3,233,991千円となりました。これは主に、有形固定資産及びソフトウェアが減価償却により減少したことによるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比較して314,659千円減少し、2,343,886千円となりました。これは主に、短期借入金が返済により減少したものの、買掛金及び契約負債が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比較して38,156千円減少し、720,523千円となりました。これは主に、長期借入金が返済により減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比較して36,718千円増加し、8,963,833千円となりました。これは、利益剰余金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末に比較して360,632千円減少し、4,382,905千円になりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、245,830千円の収入（前年同期は310,390千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益251,882千円の計上に加え、売上債権の減少118,453千円及び仕入債務の増加249,293千円が資金の増加要因となったことによるものです。一方で棚卸資産の増加201,819千円及び未払又は未収消費税等の増減額224,121千円は資金の減少要因となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、38,811千円の支出（前年同期は50,651千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出46,768千円、無形固定資産の取得による支出30,925千円、差入保証金の回収による収入42,677千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、567,652千円の支出（前年同期は224,958千円の支出）となりました。これは短期借入金の純増減額300,000千円、長期借り入れによる収入200,000千円、長期借入金の返済による支出316,480千円及び配当金の支払額151,172千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月9日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	4,743,538	4,382,905
売掛金	1,208,166	1,089,713
商品及び製品	1,397,593	1,432,528
仕掛品	35,256	58,078
原材料及び貯蔵品	1,488,482	1,632,545
その他	174,918	212,548
貸倒引当金	△12,460	△14,067
流动資産合計	9,035,495	8,794,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,601,584	4,571,779
減価償却累計額	△2,914,599	△2,936,737
建物及び構築物（純額）	1,686,984	1,635,041
機械装置及び運搬具	1,654,347	1,659,327
減価償却累計額	△1,576,505	△1,586,831
機械装置及び運搬具（純額）	77,842	72,496
工具、器具及び備品	1,005,187	988,957
減価償却累計額	△981,447	△954,110
工具、器具及び備品（純額）	23,739	34,847
土地	1,181,357	1,181,357
有形固定資産合計	2,969,925	2,923,743
無形固定資産		
ソフトウェア	93,448	86,920
その他	0	0
無形固定資産合計	93,448	86,920
投資その他の資産		
繰延税金資産	58,646	52,352
差入保証金	168,469	150,208
その他	18,355	20,765
投資その他の資産合計	245,471	223,327
固定資産合計	3,308,844	3,233,991
資産合計	12,344,340	12,028,243

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流动負債		
買掛金	236,869	486,163
短期借入金	500,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	589,208	532,424
未払金	671,987	572,939
未払法人税等	75,496	53,135
未払消費税等	195,740	7,016
契約負債	298,811	407,070
その他	90,432	85,137
流动負債合計	2,658,545	2,343,886
固定負債		
长期借入金	727,722	668,026
繰延税金負債	2,583	24,051
その他	28,374	28,446
固定負債合計	758,679	720,523
負債合計	3,417,224	3,064,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	8,554,110	8,590,827
自己株式	△1,136,014	△1,136,014
株主資本合計	8,927,115	8,963,833
純資産合計	8,927,115	8,963,833
負債純資産合計	12,344,340	12,028,243

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,455,967	5,550,795
売上原価	1,793,337	1,846,038
売上総利益	3,662,629	3,704,756
販売費及び一般管理費	※1 3,699,368	※1 3,447,163
営業利益又は営業損失(△)	△36,739	257,593
営業外収益		
受取利息	68	858
受取配当金	139	—
受取賃貸料	414	414
還付加算金	87	7
助成金収入	17,106	4,026
その他	4,012	1,795
営業外収益合計	21,827	7,102
営業外費用		
支払利息	7,580	8,715
減価償却費	—	3,785
その他	90	96
営業外費用合計	7,670	12,597
経常利益又は経常損失(△)	△22,582	252,097
特別利益		
資産除去債務戻入益	※2 19,280	—
特別利益合計	19,280	—
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	215
投資有価証券売却損	290	—
特別損失合計	290	215
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△3,592	251,882
法人税、住民税及び事業税	38,293	39,752
法人税等調整額	△26,272	24,152
法人税等合計	12,021	63,905
中間純利益又は中間純損失(△)	△15,613	187,976
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△15,613	187,976

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△15,613	187,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△487	—
その他の包括利益合計	△487	—
中間包括利益 (内訳)	△16,101	187,976
親会社株主に係る中間包括利益	△16,101	187,976
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	△3,592	251,882
減価償却費	70,418	91,147
引当金の増減額（△は減少）	△1,938	1,607
受取利息及び受取配当金	△207	△858
助成金収入	△17,106	△4,026
支払利息	7,580	8,715
固定資産売却損益（△は益）	0	0
固定資産除却損	0	215
投資有価証券売却損益（△は益）	290	—
資産除去債務戻入益	△19,280	—
売上債権の増減額（△は増加）	284,137	118,453
棚卸資産の増減額（△は増加）	△47,518	△201,819
仕入債務の増減額（△は減少）	125,480	249,293
未払債務の増減額（△は減少）	△29,727	△59,898
未払又は未収消費税等の増減額	17,434	△224,121
その他	△78,686	69,984
小計	307,284	300,573
利息及び配当金の受取額	207	858
利息の支払額	△8,475	△9,499
助成金の受取額	8,097	6,955
法人税等の還付額	24,779	2,247
法人税等の支払額	△21,502	△55,305
営業活動によるキャッシュ・フロー	310,390	245,830
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,897	△46,768
無形固定資産の取得による支出	△16,092	△30,925
有形固定資産の売却による収入	251	—
長期前払費用の取得による支出	△244	△3,790
投資有価証券の売却による収入	1,000	—
差入保証金の差入による支出	△50	△4
差入保証金の回収による収入	380	42,677
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,651	△38,811
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	△300,000
長期借入れによる収入	400,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△473,873	△316,480
配当金の支払額	△151,085	△151,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△224,958	△567,652
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	34,780	△360,632
現金及び現金同等物の期首残高	3,959,197	4,743,538
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,993,978	4,382,905

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社においては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
給料手当	987,386千円	878,814千円
販売促進費	634,954	646,342
荷造運送費	324,328	309,424
広告宣伝費	607,974	480,737
減価償却費	43,998	58,515

※2 資産除去債務戻入益

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

賃貸オフィスにおいて、契約時より原状回復費用の発生に備え計上しておりました資産除去債務について、移転時に賃貸人と原状回復義務を免除する契約を締結したことに伴い、その戻し入れを行ったことによるものであります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）及び当中間連結会計期間

(自2025年4月1日 至2025年9月30日)

当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2025年11月14日開催の取締役会において、当社の100%出資連結子会社であるハーバーコスメティクス株式会社を2026年4月1日をもって吸収合併することを決議し、同日付けで同社と合併契約を締結いたしました。

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称 ハーバーコスメティクス株式会社

事業の内容 化粧品、栄養補助食品等の開発、製造、販売

②企業結合日

2026年4月1日（予定）

③企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、ハーバーコスメティクス株式会社を消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

株式会社ハーバー研究所

⑤その他取引の概要に関する事項

当社グループにおける化粧品及び健康食品の物流から販売までの業務運営を一層効率化し、経営基盤を強化するとともに経営資源を有効活用することを目的として、ハーバーコスメティクス株式会社を吸収合併することといたしました。

(2) 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2024年9月13日）に基づき、共通支配下の取引として処理を行う予定であります。